



“地域のことは地域で考えよう”

2020年4月30日

おきぎん県内景況・速報 2020年3月

—県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、急速に後退している—
(下方修正)

■個人消費

スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店は下回る。
百貨店売上高は前年同月を下回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。
新設住宅着工戸数は前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで下回る。
ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

■企業倒産

件数、負債総額ともに前年同月を上回る。

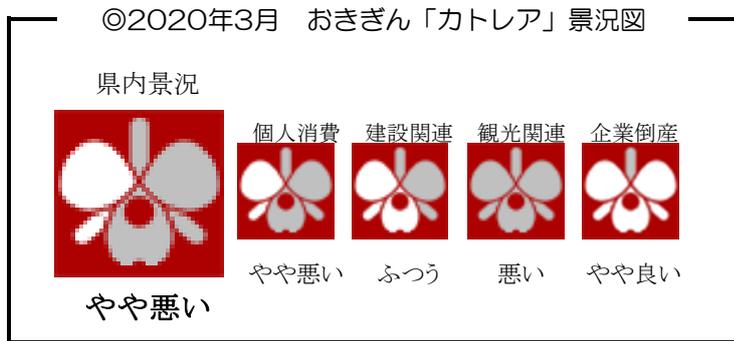
現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2020年3月分)



◎概況：県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、急速に後退している

3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回りました。既存店ベースは、前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を下回りました。新車販売台数も前年同月を下回りました。

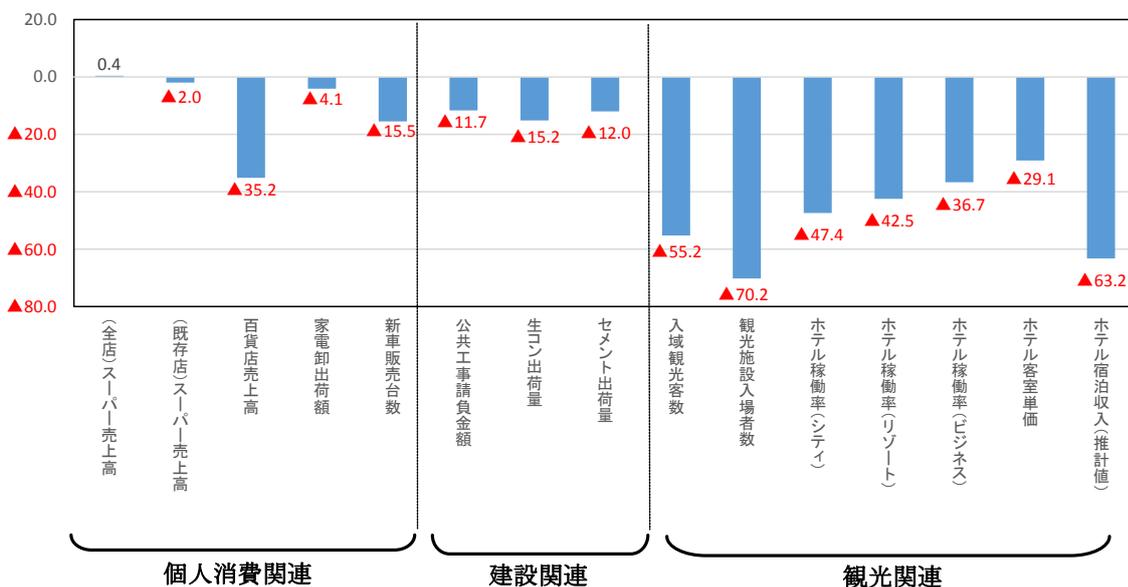
建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月連続で前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は3ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みが懸念される中、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費に弱さがみられ、観光関連は非常に厳しい状況にあることなどから「県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、急速に後退している」と景気判断しました。(下方修正)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



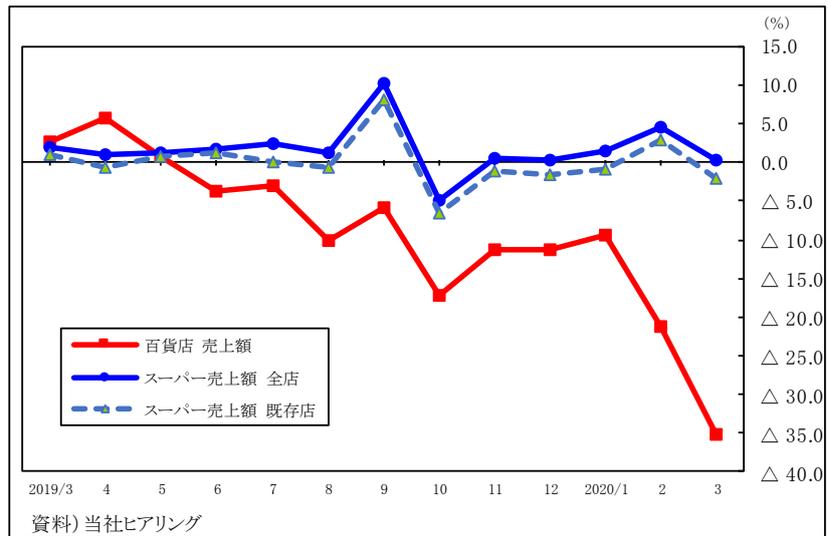


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回る。既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2019/3	r 2.0	r 0.9	2.6
4	0.9	△ 0.6	5.8
5	1.2	0.7	0.7
6	1.7	1.2	△ 3.6
7	2.5	r △ 0.02	△ 3.1
8	1.3	△ 0.5	△ 10.0
9	10.2	8.1	△ 5.9
10	△ 4.8	△ 6.6	△ 17.2
11	0.5	△ 1.2	△ 11.3
12	0.3	△ 1.5	△ 11.2
2020/1	1.4	△ 0.8	△ 9.3
2	4.5	2.8	△ 21.3
3	0.4	△ 2.0	△ 35.2



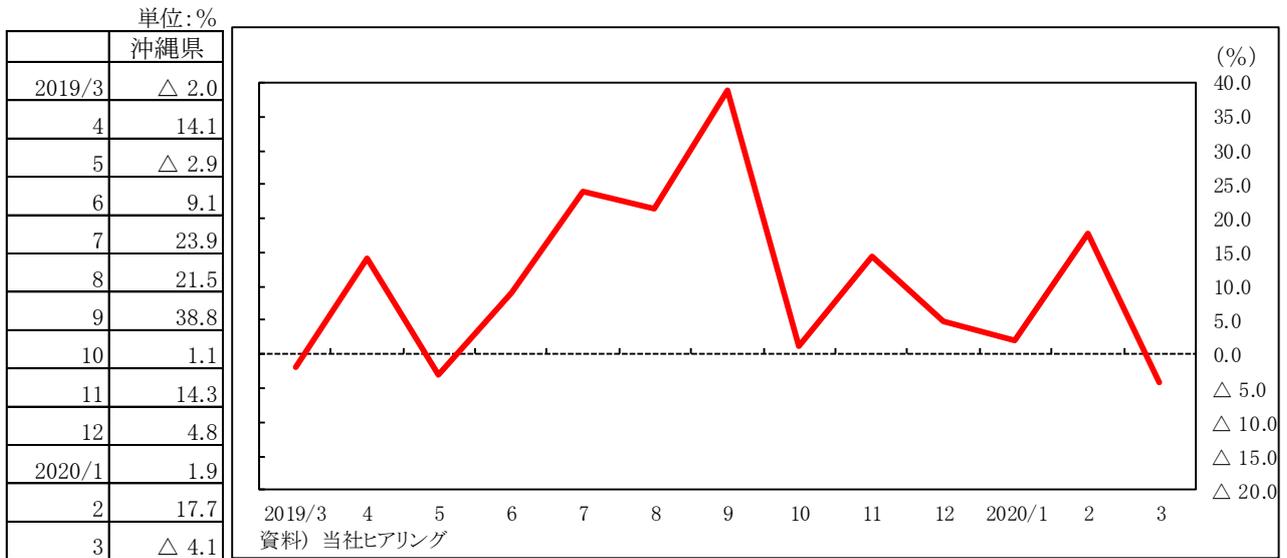
注) 前年同月比

3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 0.4%増)」は、新規出店効果により「食料品(同 3.6%増)」が伸び、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.0%減)」は、衣料品、家庭用品が伸びず、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 4.9%増)」は、新型コロナウイルスの影響による外出自粛や学校の休校などにより、中食、内食需要が増加したことなどから、レトルト食品やパスタ、ラーメンなど、日持ちする商品を中心に全般的に売り上げが伸び、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 25.7%減)」は、新型コロナウイルスの影響により客足が伸びず、前年同月を下回りました。家電やドラッグ等の「家庭用品(同 9.7%減)」は、空気清浄機やパソコン、マスク等の衛生用品が伸びたものの、新型コロナウイルスの影響による需要の減少などにより、家電、化粧品等の売り上げが伸びず、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要の大幅な減少や、外出自粛の動き、営業時間短縮などによる国内・県内の来店客数減少などにより、10ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 35.2%減)。内訳をみると、「食料品(同 19.3%減)」は、複数の催事企画を行ったものの、来店客数が伸びず、前年同月を下回りました。靴、バッグ等の「身のまわり品(同 31.3%減)」や、ウエイトの高い「衣料品(同 36.2%減)」、「家庭用品(同 41.3%減)」は、新生活需要期であったものの、新型コロナウイルスの影響で客足が伸びず、前年同月を下回りました。化粧品等の「雑貨(同 48.8%減)」は、新型コロナウイルスの影響によりインバウンド需要が大幅に減少し、前年同月を下回りました。

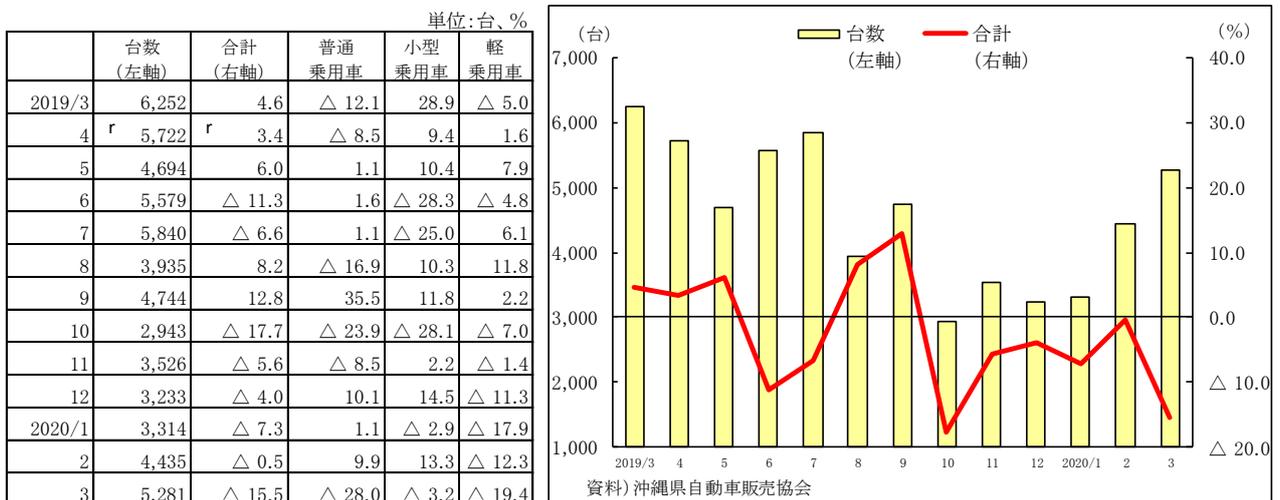
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は10ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、冷蔵庫、洗濯機、業務用家電などの需要減少により、10ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.1%減)。品目別では、「エアコン(同 24.8%増)」は、買い替え需要の増加により、前年同月を上回りました。一方、「冷蔵庫(同 20.0%減)」、「洗濯機(同 19.0%減)」は、消費税増税の駆け込み需要の反動などにより、前年同月を下回りました。また、「その他家電(同 6.6%減)」は、業務用家電などの需要が2月に前倒しとなったことから、前年同月を下回りました。「テレビ(同 0.0%)」は前年並みとなりました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、6ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

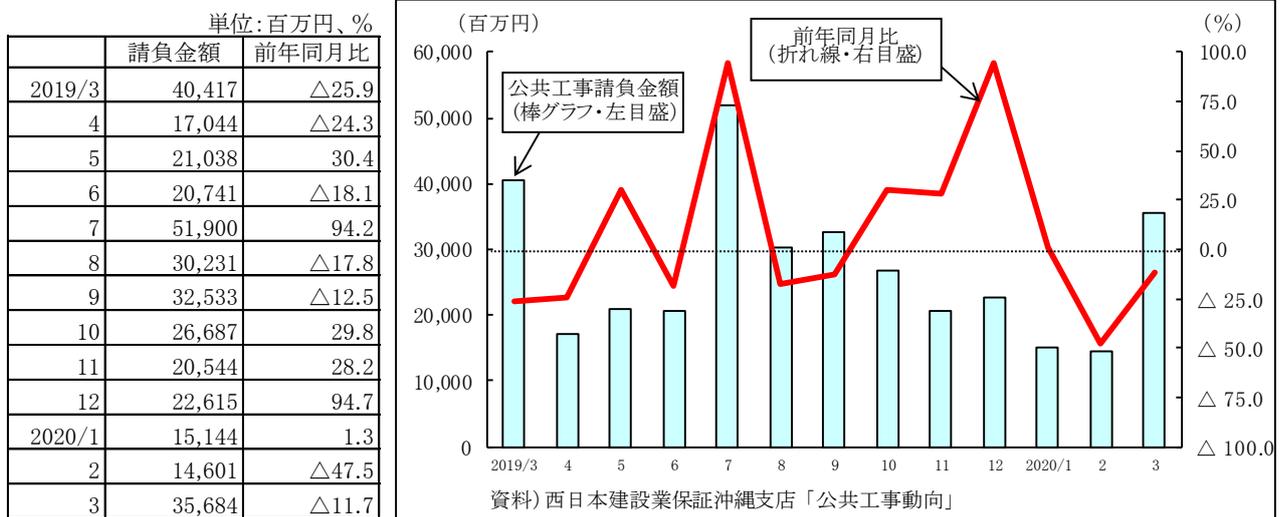
新車販売台数は、全体で5,281台(同 15.5%減)となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 28.0%減)」、「軽乗用車(同 19.4%減)」は、消費税増税の影響による自家用車需要の減少や、レンタカー需要の減少などにより、普通乗用車は4ヵ月ぶり、軽乗用車は6ヵ月連続で前年同月を下回りました。また、「小型乗用車(同 3.2%減)」は、自家用車需要は増加したものの、レンタカー需要が減少し、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



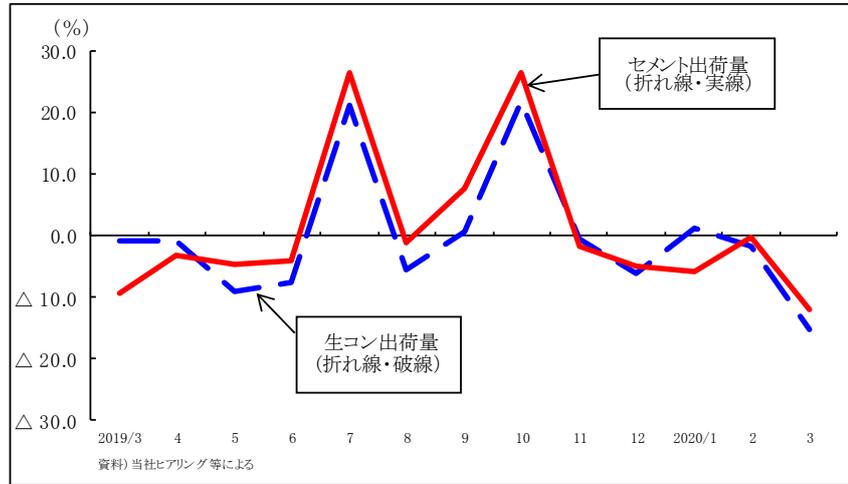
3月の公共工事請負金額は、前年同月比 11.7%減の 356 億 8,400 万円となりました(2ヵ月連続減)。今年度累計値では、4.3%増となっています。

発注者別でみると、「国(0.02%減)」や「沖縄県(同 20.2%減)」、「市町村(同 1.1%減)」、「その他の公共的団体(同 52.7%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「独立行政法人等」は前年同月を上回りました。

②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2019/3	△ 0.8	△ 9.3
4	△ 0.7	△ 3.3
5	△ 9.2	△ 4.7
6	△ 7.6	△ 4.1
7	21.2	26.7
8	△ 5.5	△ 1.2
9	0.7	7.9
10	21.9	26.5
11	△ 0.6	△ 1.7
12	△ 6.1	△ 4.8
2020/1	1.3	△ 5.7
2	△ 1.7	△ 0.2
3	△ 15.2	△ 12.0



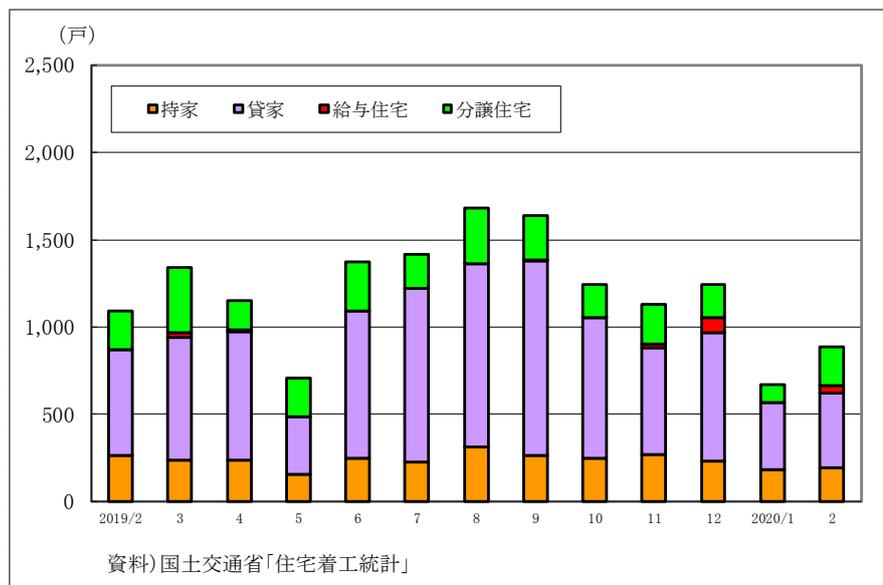
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は15.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向けは、中南部地区における空港関連や学校関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より20.9%下回り、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連や医療関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より12.3%下回りました。**セメント**出荷量は12.0%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(2月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

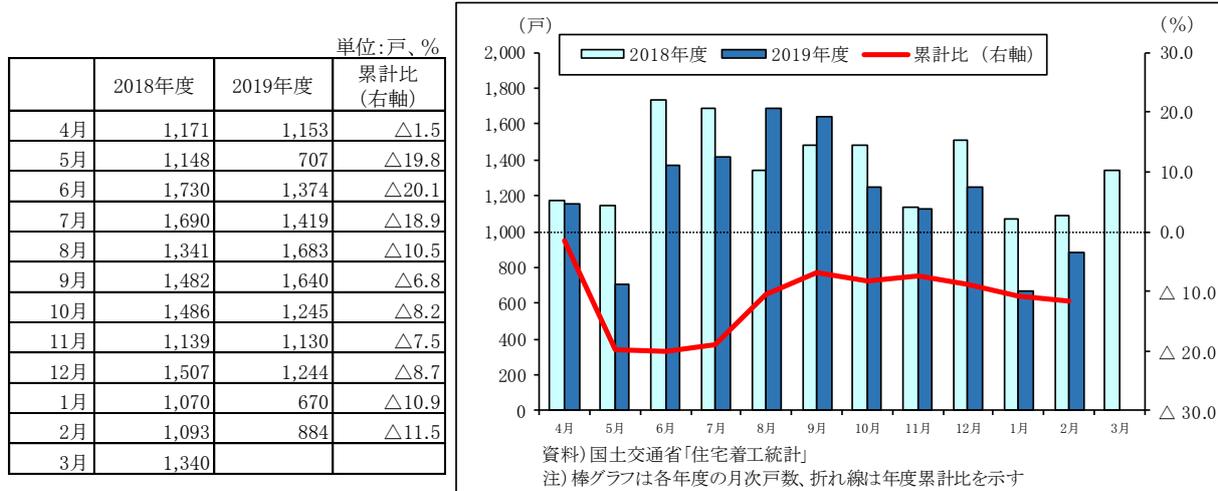
単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2019/2	1,093	△32.1
3	1,340	6.9
4	1,153	△1.5
5	707	△38.4
6	1,374	△20.6
7	1,419	△16.0
8	1,683	25.5
9	1,640	10.7
10	1,245	△16.2
11	1,130	△0.8
12	1,244	△17.5
2020/1	670	△37.4
2	884	△19.1



新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比19.1%減の884戸となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家(同29.9%減)」のほか、「持家(同25.9%減)」や「分譲住宅(同3.1%減)」は前年同月を下回りました。一方で「給与住宅」は前年同月を上回りました。

住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

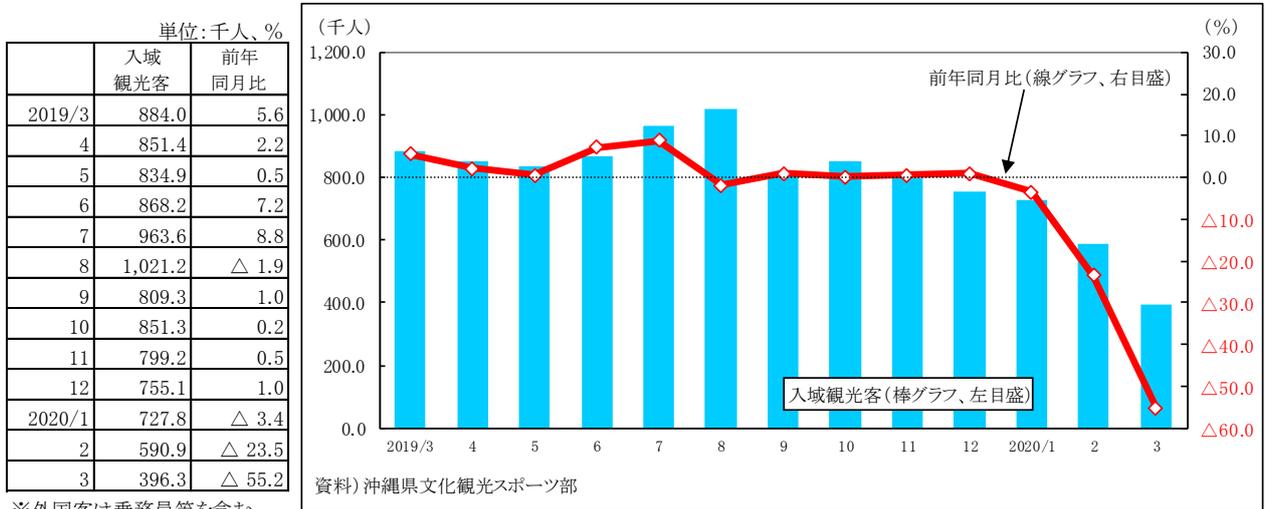


今年度累計値では、11.5%減となっています。



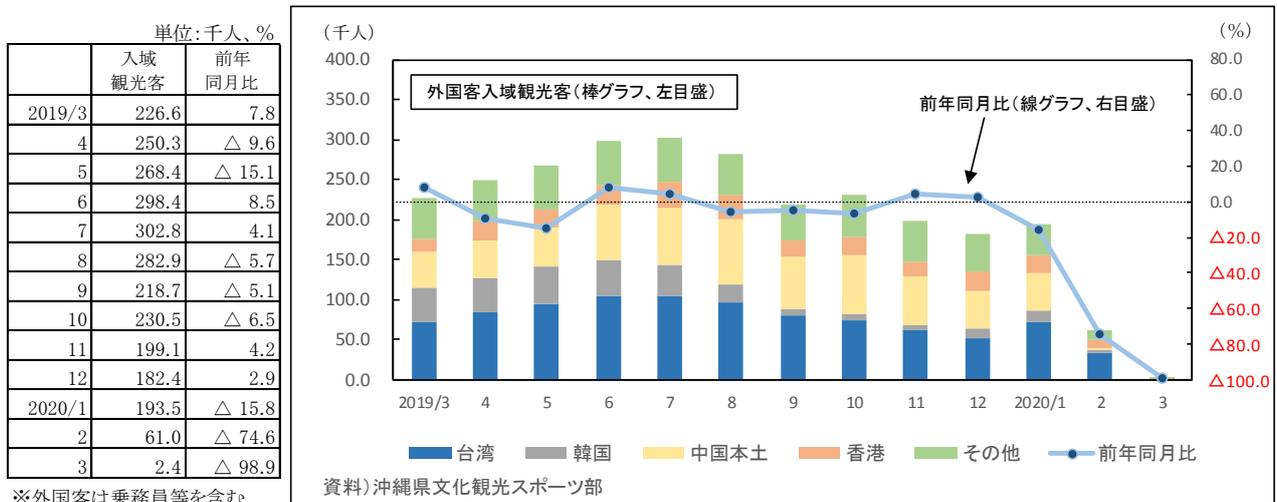
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・3ヵ月連続で前年同月を下回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数・・・3ヵ月連続で前年同月を下回る。



※外国客は乗務員等を含む

3月の入域観光客数は、487,700人少ない396,300人(前年同月比55.2%減)となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客(同40.1%減)」は、393,900人と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベントの中止や旅行自粛の動きのため、航空路線の減便や利用率の低下、クルーズ船の運航停止等から、前年同月を大きく下回りました。

他方、「外国客(同98.9%減)」は、2,400人と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の減便やクルーズ船の運航停止、日本における検疫強化、ビザの無効化等から、前年同月を大きく下回りました。

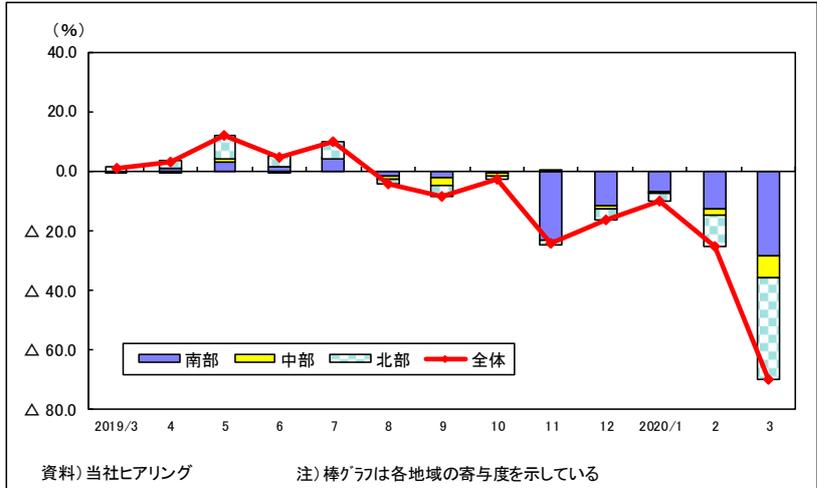
「台湾(同99.2%減)」「韓国(同99.8%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同94.8%減)」

※乗務員等を除く2020年3月実績＝全体396,300人(同53.6%減)、外国客2,400人(同98.8%減)、国内客は変わらない。

② 観光施設入場者数・・・8ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2019/3	0.9	△ 0.4	△ 4.7	3.4
4	3.2	1.9	△ 2.2	5.7
5	12.0	6.4	11.1	17.6
6	4.6	3.5	△ 6.7	7.8
7	9.8	10.8	2.8	10.3
8	△ 4.2	△ 4.1	△ 11.2	△ 3.0
9	△ 8.7	△ 6.3	△ 25.2	△ 7.1
10	△ 2.7	△ 1.5	△ 9.4	△ 2.4
11	△ 24.2	△ 51.7	3.8	△ 3.3
12	△ 16.7	△ 27.7	△ 6.8	△ 8.8
2020/1	△ 10.1	△ 16.4	△ 6.7	△ 5.3
2	△ 25.7	r △ 31.6	△ 23.7	r △ 21.3
3	△ 70.2	△ 68.8	△ 68.5	△ 71.8



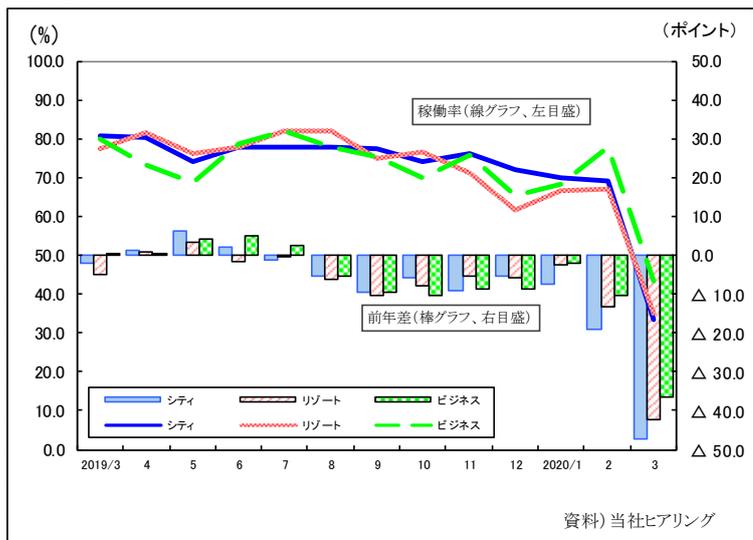
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
 ※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より70.2%減少(8ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同68.8%減と8ヵ月連続、中部は同68.5%減と4ヵ月連続、北部は同71.8%減と8ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

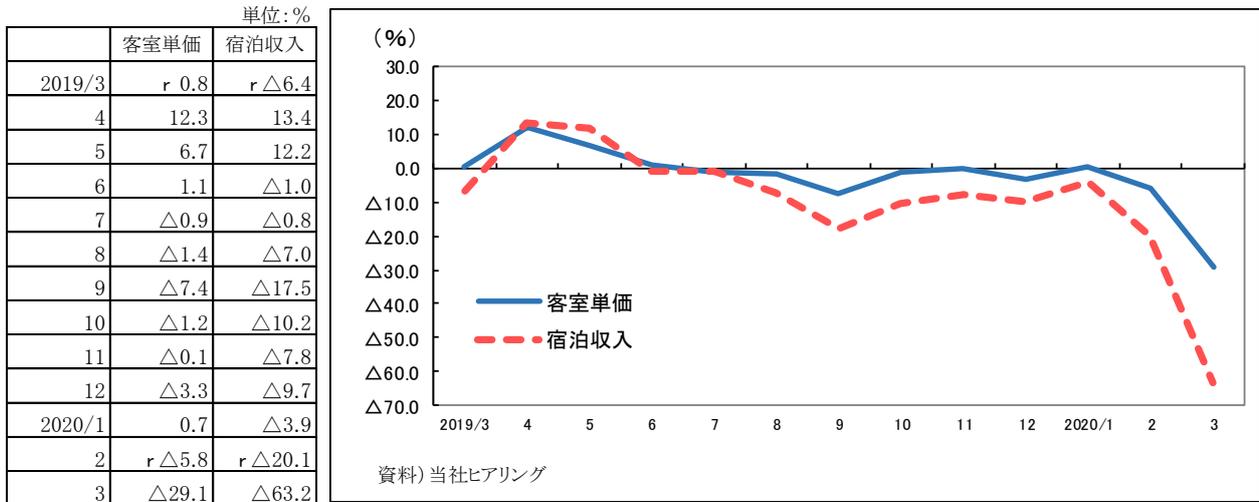
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2019/3	r 80.9	r 77.4	79.9	r △ 1.9	r △ 5.1	0.5
4	80.2	81.4	73.4	1.3	0.8	0.4
5	74.2	76.2	68.8	6.3	3.3	4.3
6	77.8	77.7	78.6	1.9	△ 1.8	5.1
7	77.8	81.9	81.8	△ 1.2	△ 0.4	2.3
8	77.8	81.9	77.6	△ 5.6	△ 6.1	△ 5.4
9	77.5	75.0	75.3	△ 9.4	△ 10.4	△ 9.6
10	74.1	76.4	70.0	△ 5.8	△ 8.0	△ 10.5
11	76.3	71.2	75.6	△ 9.1	△ 5.6	△ 8.7
12	72.1	61.8	65.4	△ 5.2	△ 5.9	△ 8.8
2020/1	70.1	66.8	68.1	△ 7.6	△ 2.4	△ 1.9
2	69.1	67.1	77.6	△ 19.1	△ 13.2	△ 10.4
3	33.5	34.9	43.2	△ 47.4	△ 42.5	△ 36.7



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
 注)2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数が変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが33.5%と47.4ポイント減少(9ヵ月連続)、リゾートホテルが34.9%と42.5ポイント減少(10ヵ月連続)、ビジネスホテルが43.2%と36.7ポイント減少(8ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 29.1%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同63.2%減と前年同月を下回りました。

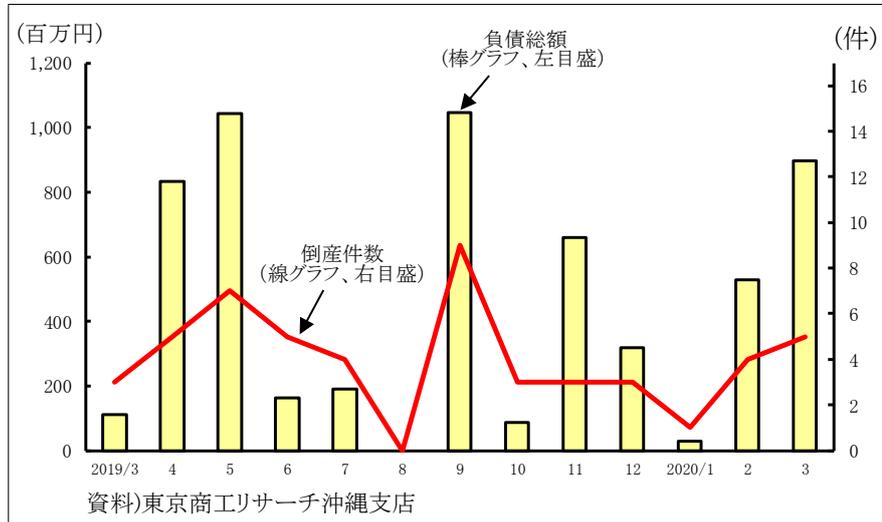


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2019/3	110	3
4	832	5
5	1,042	7
6	163	5
7	190	4
8	0	0
9	1,045	9
10	86	3
11	660	3
12	318	3
2020/1	30	1
2	530	4
3	897	5



3月の企業倒産件数は、5件(うち大口倒産は4件)となり、前年同月より66.7%上回りました。

負債総額は8億9,700万円となり、前年同月より715.5%(約8.15倍)上回りました。

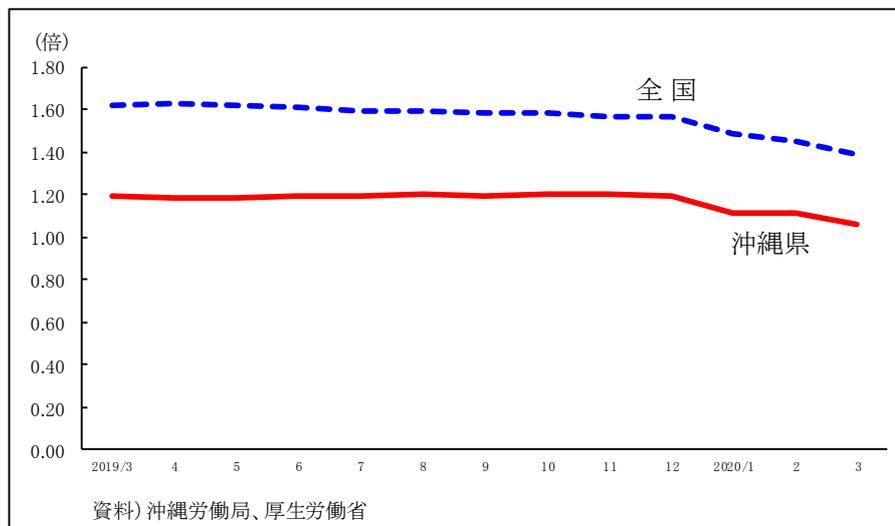


雇用関連： (やや良い)

有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2019/3	1.19	1.62
4	1.18	1.63
5	1.18	1.62
6	1.19	1.61
7	1.19	1.59
8	1.20	1.59
9	1.19	1.58
10	1.20	1.58
11	1.20	1.57
12	1.19	1.57
2020/1	1.11	1.49
2	1.11	1.45
3	1.06	1.39



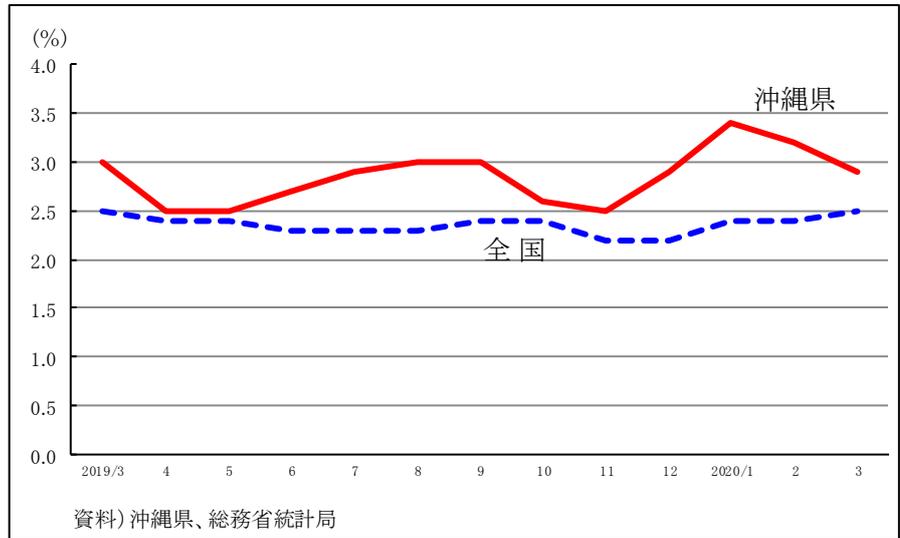
注)季節調整済

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比4.8%減の27,430人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.3%減の25,914人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.06倍となり前月より0.05ポイント低下しました。

完全失業率・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:%

	沖縄県	全国
2019/3	3.0	2.5
4	2.5	2.4
5	2.5	2.4
6	2.7	2.3
7	2.9	2.3
8	3.0	2.3
9	3.0	2.4
10	2.6	2.4
11	2.5	2.2
12	2.9	2.2
2020/1	3.4	2.4
2	3.2	2.4
3	2.9	2.5



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値)は、2.9%となり前月より0.3ポイント低下しました。